

## 九州体育・スポーツ学会第74回大会要項（第三報）

1. 名 称：九州体育・スポーツ学会 第74回大会
2. 主 催：九州体育・スポーツ学会
3. 主 管：国立大学法人佐賀大学教育学部
4. 共 催：国立大学法人佐賀大学教育学部
5. 後 援：佐賀県，佐賀県教育委員会，公益財団法人佐賀県スポーツ協会，  
公益財団法人佐賀市スポーツ協会，佐賀大学教育学部，西九州大学
6. 期 日：2025年9月6日（土）～7日（日）
7. 会 場：佐賀大学本庄キャンパス 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1
8. 日 程：

8月31日（日）	
13:00～15:00	総務委員会（オンライン）
9月3日（水）	
10:00～12:00	理事会（オンライン）
9月6日（土）（1日目）	
9:30～	受付
9:55～10:00	開会式
10:00～12:00	一般研究発表（口頭発表）
12:00～13:00	昼休み・会議（若手優秀発表賞選考関連会議）
13:00～13:10	大会会長からの挨拶
13:10～14:10	特別講演
14:20～16:20	全体シンポジウム
16:30～17:30	総会
18:00～20:00	全体情報交換会
9月7日（日）（2日目）	
8:30～	受付
9:00～10:00	自主企画セッション 研究推進委員会企画セッション
10:10～12:10	専門分科会シンポジウム（総会含む）
12:10～13:10	昼休み
13:10～14:10	九州地区大学体育連合企画，スチューデント・セッション
14:20～15:50	一般研究発表（ポスター発表）
16:00～16:10	閉会式・表彰式
16:10	学会大会終了
16:20～	九州地区大学体育連合理事会

## 9. お問い合わせ

学会 Web ページ <http://webpages.ihs.kyushu-u.ac.jp/ktsm/>

第 74 回大会 Web ページ <https://sites.google.com/view/kspes74th>

第 74 回大会専用 E-mail [74th.kspes@gmail.com](mailto:74th.kspes@gmail.com)

九州体育・スポーツ学会第 74 回大会実行委員会

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1 佐賀大学教育学部 坂元康成研究室 気付

連絡先 0952-28-8360

## 10. 第 74 回大会組織

- ・ 大会会長 小野 文慈 (佐賀大学教育学部長)
- ・ 大会実行委員長 坂元 康成 (佐賀大学)
- ・ 大会実行副委員長 井上 伸一 (佐賀大学)
  - (1) 庶 務 坂元 康成 (佐賀大学) 近藤 芳昭 (西九州大学)
  - 山口 裕嗣 (西九州大学) 永富 達也 (九州龍谷短期大学)
  - (2) 渉 外 井上 伸一 (佐賀大学) 中島 慎一 (西九州大学)
  - 山田 力也 (西九州大学) 松本 勇治 (佐賀女子短期大学)
  - (3) 会 計 市川 浩 (西九州大学) 町田 正直 (佐賀大学)
  - (4) 研 究 栗原 淳 (西九州大学) 松本 大輔 (西九州大学)
  - 甲木 秀典 (西九州大学)
  - (5) 会 場 堤 公一 (佐賀大学) 山津 幸司 (佐賀大学)
  - 竹森 裕高 (西九州大学短期大学部)
- ・ 大会役員 杉山 佳生 (九州大学) 兄井 彰 (福岡教育大学)
- 柿山 哲治 (福岡大学) 田原 亮二 (西南学院大学)
- 本多 壮太郎 (福岡教育大学) 谷口 勇一 (大分大学)
- 小池 貴行 (大分大学) 内倉 康二 (大分大学)
- 陶山 俊介 (別府溝部学園短期大学)
- ・ 顧問 白木 静枝 佐久本 稔
- 徳永 幹雄 松永 淳一
- 進藤 宗洋 井上 勝子
- 山本 勝昭 金崎 良三
- 橋本 公雄 根上 優
- 大柿 哲朗 則元 志郎

## 大会参加申し込み

(1) 申し込み締め切り日

2025年7月18日(金)⇒8月1日(金)に延長しました。

(2) 大会参加申し込み方法

大会参加・発表申込は第74回大会 Web ページよりご登録ください。

(3) 大会参加費

大会参加費の納入は、下記口座にお振り込みください。なお、送金に関する手数料は、各自ご負担ください。

事前申し込み(7月18日まで⇒8月1日(金)に延長)とそれ以後での参加費は、料金が異なりますので、5ページの会費一覧をご参照ください。入金確認のため、大会参加費の種別について第74回大会 Web ページよりご登録ください。

### 振り込みに関する重要なお知らせ

納入期間を以下の期間に限定します。

納入期間：8月25日(月)～8月29日(金)

振り込みにつきましては、一人ひとり別々に振り込んでください。複数人数分をまとめて振り込むことは絶対にしないでください。事務が大変煩雑になります。

#### 【大会実行委員会専用銀行口座】※大会参加費のみ

銀行：佐賀銀行神野町支店(店番号613)

種類：普通 口座番号：2091854

名義：九州体育・スポーツ学会第74回大会実行委員会

振込み例) 名義は氏名(所属)の順で御入力ください。

サガ タロウ(サガダイガク)

校費で入金される方は特にご注意ください。

## 一般研究発表申し込み手続きおよび申し合わせ事項

保健体育・スポーツに関する研究であって、未発表の研究で完結しているものとします。口頭発表およびポスター発表において筆頭演者としての登壇は、個人研究、共同研究を問わず1人1回に限ります。

(1) 研究発表申し込み資格

演者、共同研究者(当日参加しない者も含む)とも下記①もしくは②の会員で第74回大会参加費を収めた者とする。

① 2025年度九州体育・スポーツ学会年会費を納入済または一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会会費から自動引落としにより本学会年会費を納入する会員

② 上記以外で会費を納入される会員

自動引落としの手続きをしておらず本年度会費が未納な方は年会費5,000円(学生年会費2,500円)を7月18日(金)(⇒8月1日(金)に延長)までに学会事務局口座に納付してください。大会実行委員会専用銀行口座に振り込まないように気を付けてください。

【学会事務局口座】※年会費のみ

郵便振替番号：17310-21783811

加入者名：九州体育・スポーツ学会

【他の金融機関からの振り込みの場合】

ゆうちょ銀行 口座名：九州体育・スポーツ学会事務局 店番：738 店名：738

預金種目：普通預金 口座番号：2178381

振込み例) 名義は氏名(所属)の順で御入力ください。

サガ タロウ (サガダイガク)

(2) 申し込み締め切り

2025年7月18日(金)⇒8月1日(金)に延長しました。

(3) 発表申し込み方法

**大会号原稿**：大会号原稿作成要領(第74回大会 Web ページに掲載)に従い作成した word ファイル\*を、研究発表申込の7月18日(⇒8月1日(金)に延長)までに大会実行委員会宛にメール添付で送信してください。

\*プログラム作成の際に校正する必要があります。

**第74回大会専用 E-mail**：[74th.kspes@gmail.com](mailto:74th.kspes@gmail.com)

**機関誌抄録原稿**：機関誌抄録作成要領(第74回大会 Web ページに掲載)に従い作成した PDF ファイルを、大会前日の9月5日までに学会事務局宛にメール添付で送信してください。

**学会事務局 E-mail**：[kyutai.office@gmail.com](mailto:kyutai.office@gmail.com)

- ① 若手優秀発表賞：35歳未満(1990年4月2日以降生まれ)の会員で若手優秀発表賞への申請を希望される方は、機関誌抄録作成要領に従い作成した抄録原稿ファイルを、研究発表申込(7月18日まで⇒延長はありません)時に学会事務局宛に添付して提出してください。
- ② ポスター発表賞：本学会会員(年齢制限なし)でポスター発表賞へ申請を希望される方は、8月29日(金)までにポスターの PDF ファイルを学会事務局宛にメール添付して提出してください。

(4) 発表方法

① 口頭発表(オーラルセッション)

第1・5分科会は1演題につき発表12分、質疑応答5分の計17分です。第2・3・4分科会は1演題につき発表10分、質疑応答4分の計14分です。会場に設営されているPCを使用する際はUSBメモリでファイルを持参いただき、該当セッション開始前にデスクトップに保存してください。持参いただいたPCもご利用いただけますが、変換アダプタは各自でご準備ください。HDMIケーブルの利用が可能です。

② ポスター発表(ポスターセッション)

1演題につき90cm(横)×180cm(縦)のポスターパネルを用意します。指定された時間帯に各自のポスターの前に立ち、参加者と討論していただきます。

(5) 発表取り直し・変更

2025年7月18日(金)(⇒8月1日(金)に延長)までに大会実行委員会宛にメールでご連絡ください。

## 会費一覧および大会までのスケジュール

### (1) 会費一覧

事 項		金 額	
事前申し込み (8月1日まで)	参加費	正会員	3,500円 (不課税)
		学生会員	1,500円 (不課税)
当日 (8月2日以降)	参加費	正会員	4,000円 (不課税)
		学生会員	1,500円 (不課税)
		大会会員	1,000円 (不課税)
特別共同発表者参加費 (6月20日までに届け出が必要)		3,500円 (不課税)	

※ 本学会員以外の外国人あるいは他の分野の研究者（企業等含む）を特別共同発表者として加えることができます（筆頭発表者にはなれません）。特別共同発表者を登録する発表者は所定の様式を6月20日（金）までに大会実行委員会宛（[74th.kspes@gmail.com](mailto:74th.kspes@gmail.com) [研究担当：松本]）にメール送信してください。後日、登録の可否について、実行委員会から連絡します。

※ 振り込みにつきましては、一人ひとり別々にお振り込みください。複数人数分をまとめて振り込まないようご注意ください。

※ 年度会費納入および入会手続きは、別途「九州体育・スポーツ学会事務局」にお願いします。

### (2) 大会までのスケジュール

事 項	締め切り等	担 当
大会参加事前申し込み	2025年8月1日（金）	実行委員会
研究発表申込（大会号原稿の入稿）	2025年8月1日（金）	実行委員会
大会参加費納入（事前申し込み）	2025年8月25日（月） ～8月29日（金）	実行委員会
発表取り消し・演者変更	2025年8月1日（金）	実行委員会
機関誌抄録原稿（ファイル）	2025年9月5日（金）	学会事務局

## 学会大会派遣依頼書

学会大会派遣依頼書の必要な方は、第74回大会 Web ページからダウンロードしてご利用ください。<https://sites.google.com/view/kspes74th>

## 交通について

○JR佐賀駅から タクシーで約10分

○佐賀駅バスセンター（佐賀駅隣）から 市営バスで約15分  
 【4番】佐賀女子短大・高校線（中央大通り・辻の堂・佐賀大学前経由）  
 【11番】佐賀大学・西与賀線  
 【12番】佐賀大学・東与賀線  
 【63番】佐賀女子短大・高校線（紡績通り・与賀町・佐賀大学前経由）  
 上記いずれかの経路で「佐賀大学前」下車

○佐賀空港から タクシーで約20分

## 佐賀大学本庄キャンパスマップ

### 本庄キャンパス



2023年9月時点

- |  |   |                      |
|--|---|----------------------|
| 1 本部   | 18 経済学部 1号館   | 35 農学部 1号館           |
| 2 学生センター<br>アドミッションセンター<br>キャリアセンター<br>総合研究棟 | 19 経済学部 2号館   | 36 農学部 2号館           |
| 3 附属図書館                                      | 20 経済学部 3号館   | 37 農学部 3号館           |
| 4 美術館  | 21 経済学部 4号館   | 38 農学部 4号館           |
| 5 産学交流プラザ<br>リージョナル・イノベーションセンター              | 22 菊楠シュライバー館<br>(地域学歴史文化研究センター)                             | 39 農学部実験棟            |
| 6 保健管理センター                                   | 23 理工学部 1号館   | 40 オプティム・ヘッドクォータービル  |
| 7 教養教育 1号館                                   | 24 理工学部 1号館 (南棟)  | 41 海洋エネルギー研究所        |
| 8 教養教育 2号館                                   | 25 理工学部 2号館   | 42 総合情報基盤センター        |
| 9 教養教育大講義室                                   | 26 理工学部 3号館   | 43 体育館               |
| 10 教育学部 1号館                                  | 27 理工学部 4号館   | 44 プール               |
| 11 教育学部 2号館<br>国際交流推進センター・留学生交流室             | 28 理工学部 5号館   | 45 スポーツセンター          |
| 12 教育学部 3号館                                  | 29 理工学部 6号館 (DC 棟)  | 46 弓道場               |
| 13 教育学部 5号館<br>教育学部附属教育実践総合センター              | 30 理工学部 7号館   | 47 野球場               |
| 14 芸術地域デザイン学部 1号館                            | 31 理工学部 8号館<br>シンクロトロン光応用研究センター<br>総合分析実験センター<br>海洋エネルギー研究所 | 48 テニスコート            |
| 15 芸術地域デザイン学部 2号館                            | 32 理工学部 9号館<br>総合分析実験センター                                   | 49 テニスコート            |
| 16 芸術地域デザイン学部 3号館                            | 33 理工学部大学院棟   | 50 陸上競技場             |
| 17 総合研究 1号館                                  | 34 機械システム実習工場   | 51 第1サークル会館、第2サークル会館 |
|  |   | 52 第3サークル会館          |
|  |   | 53 学生会館・大学生協         |
|  |   | 54 かささぎホール           |
|  |   | 55 菱の実会館             |
|  |   | 56 佐賀大学同窓会事務所        |
|  |   | 57 楠葉寮               |
|  |   | 58 国際交流会館 (A・B 棟)    |
|  |   | 59 国際交流会館 (C 棟)      |

## その他

### (1)昼食について：

大学周辺の飲食店をご利用ください。大学近くにコンビニエンスストアもあります。

### (2)託児所について：

第74回大会では、託児所の開設は予定していません。

### (3)受付及びクロークについて：

1日目（9月6日）、2日目（9月7日）共に美術館（受付）を予定しています。

### (4)無線 LAN（Wi-Fi）について

会場の佐賀大学では、ビジター用アカウントを発行することができます。eduroam 参加機関の方は、ご自身のアカウントでeduroamが利用できますので、ビジター用アカウント発行は必要ありません(<https://www.eduroam.jp/about>)。

### (5)全体情報交換会

学会員相互の交流を深めるための情報交換会を開催します。大会参加申込時に情報交換会の参加についても申込を済ませてください。情報交換会の会費は現地でお支払いください

日時：9月6日（土）18:00～20:00

会場：かささぎホール（〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1）

＊前ページ「佐賀大学本庄キャンパスマップ⑤4」

会費：一般会員 5,000円 学生 3,000円（現地でお支払いください）

## プログラム

### 講演、シンポジウム、各セッション等の概要

【特別講演】9月6日（土）13:10～14:10 （一般開放予定）

テーマ	地域に根差したプロスポーツチームとしての取り組みについて
講演者	小早川 武徳（SAGA 久光スプリングス株式会社 代表取締役社長）
司 会	甲木 秀典（西九州大学）
概 要	<p>第3期スポーツ基本計画では、スポーツビジネスや地域創生に関しても言及している。スポーツビジネスでは、デジタル技術の活用や多様なサービス提供により、スポーツ市場の拡大を図ることをねらいとしている。一方、地域創生では、スポーツイベントの開催や地域資源と連携したスポーツツーリズムの推進などにより、地域の魅力を高め活性化を目指すなど、スポーツを通じて経済成長と地域振興の両立を図ることを目標としている。</p> <p>特別講演では、地域に根差したプロスポーツチームの取り組みについて学び、体育・スポーツを通じた地域活性化について考える機会としたい。</p>

【全体シンポジウム】9月6日（土）14:20～16:20 （一般開放予定）

テーマ	「スポーツによる地域創生 - スポーツで稼ぐ -」
演 者	日野稔邦（佐賀県 SAGA スポーツピラミッド構想 総括監）
演 者	小早川武徳（SAGA 久光スプリングス株式会社 代表取締役社長）
演 者	田畠寿太郎（株式会社佐賀バルナーズ 代表取締役社長）
演 者	石井優希（SAGA 久光スプリングス株式会社所属アスリート）
コーディネーター	萩原悟一（九州産業大学）
司 会	萩原悟一（九州産業大学）
概 要	<p>2025年3月、佐賀県ではSSP構想を恒久的に推進していくため「SAGA スポーツピラミッド構想推進条例」を制定した。例年、国スポ後は通常多くの開催県で予算や支援の規模が縮小されていく中、佐賀県においては人材育成やスポーツ文化の醸成、スポーツビジネスの推進等、国スポをきっかけとしてさらに発展させる方向に向かっている。</p> <p>また、スポーツは、地域の活性化や経済の発展に大きく貢献する。例えば、国民スポーツ大会の開催は、多くの観光客を呼び込み、宿泊や飲食などのビジネスを活性化させる。また、スポーツ関連の情報発信を通じて地域の魅力を広めることも可能だ。さらに、スポーツは人々の交流を促し、世代や国籍を超えたコミュニケーションの場となる。地域社会がスポーツに投資し、適切な“財”を確保することで、持続可能なスポーツ文化の発展が期待される。</p> <p>本シンポジウムでは、体育・スポーツにおいて地域で “財” を創生する取り組みについて話題提供をいただき、スポーツでいかにして地域住民を幸福にするかについて議論したい。</p>

【専門分科会シンポジウム】

[第1・5専門分科会] 9月7日(日) 10:10~12:10

テーマ	シンポジウム：先端技術が拓く体育・スポーツ教育の新展開— ICT・AI を活用した合理的で学習者中心の指導文化の構築 —
演者	増村雅尚 (九州産業大学)
演者	古門良亮 (西日本工業大学)
演者	萩原悟一 (九州産業大学)
企画	増村雅尚 (九州産業大学) , 萩原悟一 (九州産業大学)
司会	萩原悟一 (九州産業大学)
概要	<p>近年、ICT や AI をはじめとする先端技術の進展は、体育・スポーツ指導の在り方に大きな変革をもたらしている。従来は指導者の経験や主観的判断に依拠していたパフォーマンス評価は、データやシステムによる客観的かつ再現性の高い分析へと移行しつつある。本シンポジウムでは、先端技術を導入した競技現場および教育的実践とその学術的意義について、多角的に検討する。</p> <p>第一報告では、ICT を活用し競技パフォーマンスの精緻な可視化と合理的トレーニングを目指す競技現場における研究成果を提示する。第二報告では、高等教育におけるeスポーツおよびバーチャルスポーツの導入実践を取り上げ、学習者の主体的関与を促進する教育的可能性と課題を論じる。第三報告では、脳波計測を基盤とした心理過程の可視化システムを紹介し、従来評価困難であった心理的側面を教育・研究に応用する方法論的意義を明らかにする。</p> <p>これら三者の報告を踏まえ、先端技術を媒介とした指導法の新展開を批判的に考察し、学習者中心の教育環境構築に資する理論的・実践的知見を深化させることを目的とする。最終的には、技術活用により不合理な指導を是正し、誰もが成長可能な持続的指導文化の確立を目指す。</p>

[第2・4専門分科会] 9月7日(日) 10:10~12:10

テーマ	健康日本 21 (第三次) の視点から考える子どもと高齢者の健康づくり
演者	永山 寛 (九州大谷短期大学)
演者	高江 理恵 (福岡大学)
指定討論者	田中 沙織 (九州産業大学) , 松原建史 (健康科学研究所)
司会	高原 和子 (福岡女学院大学) , 熊原秀晃 (中村学園大学)
企画	音成 陽子, 熊原 秀晃 (中村学園大学) , 松原 建史 (健康科学研究所) , 田原 亮二 (西南学院大学)
概要	<p>健康日本 21 (第三次) は、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す国民健康づくり運動である。その一環として「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」は子ども、成人、高齢者向けの推奨事項を示している。例えば、子どもには幼児期からの遊びを通じた身体活動が推奨されている。また、高齢者には筋力トレーニングや有酸素運動が推奨され、身体機能や生活の質の向上を目指すこととしている。第2・4専門分科会合同シンポジウムでは、これらの内容について健康課題や方策を検討したい。</p>

[第3専門分科会] 9月7日(日) 10:10~12:10

テーマ	次期学習指導要領の展望～「体づくり運動」領域から考える～
演者	清田美紀(環太平洋大学)
司会	梶 ちか子(鹿屋体育大学)
企画	梶 ちか子(鹿屋体育大学), 西田明史(中村学園大学)
概要	<p>昨年12月に次期学習指導要領の改定に向けた検討が、中教審に諮問された。我が国の初等中等教育は、質の高い教師の努力と熱意で大きな成果を上げ続けている、と述べられた一方で、知識の概念としての習得や深い意味理解、自律的な学びの在り方等には課題が見られ、学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ばであるとされている。昨年7月に公表された、令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査では、前回調査でも指摘されていた「体ほぐし運動」について、目的や必要性について課題が継続されている。あらためて、現行の学習指導要領に基づいた指導内容・指導状況について確認し、次期学習指導要領に向けた展望について議論を深めたい。</p>

【研究推進委員会企画セッション】9月7日（日）9:00～10:00

企 画	研究推進委員会
司 会	兄井彰（福岡教育大学）
演題 1	中学校ダンス領域の「現代的なリズムのダンス」の授業における「技能」指導に関する調査
演 者	川崎 百合香（福岡大学，鹿屋体育大学大学院）
概 要	<p>中学校ダンス領域において、「現代的なリズムのダンス」は生徒の興味関心が高く，採択率が最も高いとされているが，多くの学校でビデオ等による既成の振り付けや作品の模倣が行われており，学習の質が十分に保障されていないことが指摘されている（中村 2009・2010・2013，熊谷ら 2014，梶ら 2020，川崎ら 2023）．これまで，ダンス授業に関する現状調査はされているものの，現職教員が既成作品の模倣に頼ってしまう要因までを掘り下げた研究は見当たらない．本研究では，中学校ダンス領域における「現代的なリズムのダンス」の授業において，既成作品の模倣に頼ってしまう要因を明らかにし，「技能」指導上の課題を整理することを目的とした．令和 6（2024）年 7 月 1 日～8 月 9 日に実施した質問紙調査の対象者から，各年代や地域を考慮して合計 15 名をランダム抽出し，令和 6（2024）年 12 月 6 日から 12 月 26 日にインタビュー調査を実施した．本セッションでは，調査の結果から明らかとなった「技能」指導上の課題や，学習指導要領に沿った教材及び指導法モデル開発への基礎的知見について報告する．</p>
演題 2	小学生ドッジボール選手が偶発的に習得する掌屈保持投球様式は投球障害予防の手掛かりとなるか？
演 者	本山 清喬（九州産業大学）
概 要	<p>身体が未成熟な小学生は手関節を掌屈させ手掌と前腕でボールを挟み込むようにボールを保持・制御する手掌保持投球様式を用いることがある．小学生の投球動作を片手把持投球様式と手掌保持投球様式に分類した結果，両群にボール速度の差は認められなかったが，ボール速度獲得過程は異なる特徴があった．掌保持投球様式はボールを完全把持できない代償だけでなく，筋出力以外を活用したボール速度獲得が投球障害の予防に有用と考えられる．研究参加者は小学生の時に掌保持投球様式を用い，その後，片手把持投球様式へ移行した経歴を持つ 17 名の男子大学生である．実験試技は 5 つのボール（重量：170-500g，半径：10.5cm）を 2 つの様式で投球し，その動作は高速度カメラ（Panasonic 社製，GH6，240Hz）2 台を用いて撮影した．身体及びボールの 28 点は Frame DIAS VI(Q' sfix)の 3 次元 DLT 法を用いて 3 次元座標を算出した．なお，本研究は現在データ編集中であり，9 名の結果を報告する．ボールの重量が増すとボール速度は両条件ともに低下した．また，肩関節内旋/外旋トルクは片手把持投球様式が大きな値を示し，掌屈保持投球様式よりもボール重量に対応して大きな値となった．</p>

【自主企画セッション1】9月7日（日）9:00～10:00

テーマ	体力テストにおける測定の絶対的信頼性 ―結果を判断する基礎知識―
話題提供者	安部 孝（順天堂大学），尾崎 隼朗（東海学園大学）， 田原 亮二（西南学院大学）
司会	安部 孝（順天堂大学），田原 亮二（西南学院大学）
企画	安部 孝（順天堂大学）
概要	新体力テストには筋力や瞬発力，柔軟性，持久力など様々な測定項目があり，児童・生徒の体力レベルや高齢者のサルコペニアあるいはフレイルなど，評価や判定に利用されています．しかし，個々人の測定値は日々変化する可能性があり（つまり，生物学的変動性），これらの変化の程度は特定の調整要因によって影響されることが考えられます．絶対的信頼性を用いると測定値が内包する誤差の範囲を測定法と同じ単位で示すことが可能です．本セッションでは，テストと再テストにおける絶対的信頼性について議論します．

【自主企画セッション2】9月7日（日）9:00～10:00

テーマ	武道の国際化・競技化について考える
話題提供者	岩熊 昌毅（久留米市剣道連盟）， 出口 達也（広島大学 大学院人間社会科学研究科）
司会	檜崎 教子（福岡教育大学）
企画	日本武道学会九州支部
概要	本セッションでは，「武道を通じて何を学ばせたいのか」「競技を通じて何を学ばせたいのか」「対象者に応じた指導の工夫や課題」「武道の国際化・競技化」「武道における強さとは」という問いに対して，剣道と柔道の指導者としての立場からご講演していただくことを計画している．本セッションは，日本武道学会九州支部とのコラボレーションで実施する計画である．九州体育・スポーツ学会の会員だけでなく，日本武道学会九州支部の会員にも参加していただくことで，今後の武道における指導の工夫や課題について意義ある議論が展開されるものと考えている．武道やスポーツ指導を実践している参加者と共に議論を深めていながら，対象者に応じた指導や武道の国際化・競技化についても検討していきたい．

【スチューデント・セッション】9月7日（日）13:10～14:10

テーマ	大学資源の活用～学生は何ができるのか、何を学べるのか～
演者	安立 雄斗・西山 大智（福岡大学大学院） 蜂須賀 友助・芹川 晃希（鹿屋体育大学大学院）
司会	鈴木 涼真・アツオビン ジェイソン（福岡大学大学院）
企画	安立 雄斗（福岡大学大学院），鈴木 涼真（福岡大学大学院） 西山 大智（福岡大学大学院），アツオビン ジェイソン（福岡大学大学院）
概要	第3期「スポーツ基本計画」では、スポーツの価値をさらに高めるために、「つくる／はぐくむ」，「あつまり，ともに，つながる」，「誰もがアクセスできる」という新たな「3つの視点」が示され，それらを支える施策の推進が求められている。また，今後5年間にわたり総合的かつ計画的に取り組むべき施策として，“多様な主体におけるスポーツの機会創出”，“スポーツによる地方創生，まちづくり”，“スポーツ推進のためのハード，ソフト，人材”等の12の施策が掲げられている。本セッションでは，大学が有するスポーツ資源の活用の可能性や，在学する大学生が参画することの意義に焦点を当て，現在各大学で実施されている取り組みや，今後の展望について話し合い，スポーツの振興と発展を目的とする大学スポーツ資源を活用した活動の一助になることを期待する。

【「九州地区大学体育連合」・「九州体育・スポーツ学会」合同企画】

9月7日（日）13:10～14:10

テーマ	大学体育でどのようなリテラシーを育てるのか？
演者	黒川 哲也（九州産業大学），高橋 浩二（長崎大学）
司会	田原 亮二（西南学院大学）
企画代表者	九州地区大学体育連合企画委員会 田原 亮二（西南学院大学，九州体育・スポーツ学会大会企画委員長）
概要	本企画では，大学における共通（教養）教育としての体育の教育的意義を再考する。第一に，スポーツを文化的現象として捉えるスポーツリテラシーの視点から，市民としてスポーツを批判的・創造的に理解し，社会とつながる力を涵養する教育のあり方を考察する。第二に，生涯にわたる身体活動の継続を目指すための動機，自信，身体的能力，知識及び理解であるフィジカルリテラシーを，身体の知識に依拠した“身体化された学習”から育成しようとする考え方を検討する。以上の視点から，初等中等教育と高等教育をつなぐ教養教育として，大学体育が果たすべき役割を多角的に議論する。